

がん診療連携拠点病院 院内がん登録実施状況調査(案)

空欄、下線部に記入をお願いします。
 選択肢の場合は、該当する番号に○を記入下さい。
 現在の状況を御記入下さい。

施設名	
施設長名	

所在地	()		
本調査の 記入者	氏名:	職名:	
	TEL:	内線:	Fax:
	email:		
院内がん登録 責任者	氏名:	職名:	
	TEL:	内線:	Fax:
	email:		

I 院内がん登録の組織体制についてお答え下さい。

1 院内がん登録の組織についてお答え下さい。

(1) 院内がん登録委員会がある。

- 1.はい 2.いいえ

↓ はいと答えられた方
構成メンバーの役職をご記入ください。
例: 副院長 医療情報管理室長、...

[]

(2) 院内がん登録委員会を定期的開催している。

- 1.はい 2.いいえ

↓ はいと答えられた方
開催頻度をご記入ください。
例: 月1回

[]

(3) 院内がん登録業務内容を規程している。

- 1.はい 2.いいえ

↓ はいと答えられた方
規程名(および、細則名)をご記入ください。
例: 院内がん登録関係組織規程及び院内がん登録実施規程

[]

(4) 貴施設の院内がん登録組織における問題点、改善点があればお書き下さい。
(貴施設の規程、細則など提供可能でしたら、調査票と一緒に同封して返信をお願いします)

2 院内がん登録室についてお答え下さい。

(1) 院内がん登録室がある。

- 1.はい 2.いいえ 3.準備中

↓
(2)へ進む

↓
登録作業を行っている部屋について具体的にお答え下さい。

[]

(2) 院内がん登録室の設置場所についてあてはまる番号に○印および、該当する内容をご記入下さい。

- 1.独立して設置されている。
2.併設して設置されている。 → どこに併設されていますか?()
3.その他()

(3) 院内がん登録室の組織上の位置づけについてあてはまる番号に○印および、該当する内容をご記入下さい。

- 1.独立して位置付けられている。
2.併設して位置付けられている。 → どの部門と併設されていますか?()
3.その他()

(4) 貴施設の院内がん登録室における問題点、改善点があればお書き下さい。

II 院内がん登録実施体制についてお答え下さい。

(1) 院内がん登録に携わっている職員の職種、勤務形態、業務内容をご記入下さい。

例: 院内がん登録室長 (医師1名、常勤、専任) 院内がん登録全般の業務管理、責任者
 登録実務者(診療情報管理士2名、非常勤、兼務) 診療記録の管理、腫瘍見つけ出し、登録作業、集計
 オペレーター(医療情報技師1名、非常勤、専任) 院内がん登録システムの保守
 庶務掛(事務1名、非常勤、兼任) 報告書作成

()

※1専任とは、その業務にはそのものが担当するが、他の業務を行ってもかまわない場合、
 ※2専従とは、その業務にもっぱら携わることとなり、院内がん登録作業以外の業務は原則的に行わない
 ※3兼務とは、その業務以外に他の業務を行なっている

(2) 院内がん登録業務マニュアルを作成し、実務を行っている。 1.はい 2.いいえ 3.準備中
 (3) 貴施設の院内がん登録実務担当者について問題点、改善点があればお書き下さい。

III 院内がん登録方法についてお答え下さい。

1 登録対象について

(1) 登録対象についてあてはまる番号に○をつけてください。

1. 施設を受診する全がんを登録対象としている (外来・入院の双方を含む)
2. 施設に入院する全がんを登録対象としている (入院のみ)
3. 一部のがんのみを登録対象としている (外来を含む、入院のみを問わない)
4. 一部の診療科を受診するのがんのみを登録対象としている (外来を含む、入院のみを問わない)
- 3.,4.に回答の場合、部位名・診療科名を御記入下さい。

5. その他 ()

(2) 登録対象の登録形態についてあてはまる番号に○をつけてください。

1. 1腫瘍1登録で行っている 2. 1入退院1登録で行っている 3. その他 ()

(3) 登録症例の登録開始年をご記入下さい。

1. _____年 入院症例 2. _____年 入院・外来を含む症例 3. _____年 その他 ()

(4) 登録対象の判断をする職種の番号に○をつけてください(複数回答可)。

1. 医師 2. 診療情報管理士 3. 看護師・保健師 4. 臨床検査技師 5. 医療事務
 6. その他 ()

(5) 貴施設の登録対象者の確認について問題点、改善点があればお書き下さい。

2 腫瘍見つけ出し(Casefinding)について

(1) 最初に腫瘍見つけ出しを行なう職種についてあてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 主治医 2. 主治医以外の登録実務者(職種: _____) 3.1と2 4. 行なっていない
 (2)へ進む (3)へ進む (2)へ進む 3.登録情報の抽出へ進む

(2) 主治医が腫瘍見つけ出しを行う場合、以下にお答え下さい。

a. 腫瘍見つけ出しの開始時期についてあてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 病名登録時 2. 退院サマリの提出による 3. その他(_____)

b. 主治医による腫瘍見つけ出しの補完方法について、あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 病理診断レポート 2. 病名登録 3. その他(_____)

(3) 登録実務者が腫瘍見つけ出しを行なっている場合についてお答え下さい。

a. 腫瘍見つけ出しに使っている情報源についてあてはまる番号に○をつけて下さい(複数回答可)。

1. 電子カルテ
 2. オーダリングシステム
 a. レセプト病名(診断名) b. 病理診断(SNOMED等) c. 放射線治療 d. 化学療法(薬剤名)
 f. 内視鏡治療 g. CT/MR検査 h. 超音波検査 i. 核医学検査
 j. 手術治療 k. 退院時病名
 m. その他(_____)

3. 退院サマリ
 4. その他(_____)

b. 登録実務者による腫瘍見つけ出しの補完方法について、あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 病理診断レポート 2. 病名登録 3. 主治医確認 4. その他(_____)

(4) 貴施設の腫瘍見つけ出しについて問題点、改善点があればお書き下さい。

3 登録情報の抽出(Abstracting)について

(1) 登録情報の抽出を主にどの職種が行なっていますか?あてはまる番号に○をつけてください。

1. 主治医 2. 主治医以外のがん登録実務者(職種: _____) 3. その他(_____)

(2) 登録作業の開始時期についてあてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 退院サマリの提出による 2. 発生源入力による
 3. 一時保管ファイルに貯めこみ、一定期間が経過した後、登録作業
 4. その他(_____)

(3) 登録情報の抽出方法についてお答え下さい。

a. 抽出した登録情報はどのように登録していますか?

1. 登録票へ記載した後、コンピューターに入力する 2. 直接コンピューターに登録入力する
 3. その他(_____)

b. 抽出担当者と入力担当者が異なる場合、誰が入力していますか?

1. 主治医 2. 主治医以外のがん登録実務者(職種: _____) 3. その他(_____)

(4) 貴施設の登録情報の抽出について問題点、改善点があればお書き下さい。

4 登録項目について			
(1) ICD-O3を使用して登録している。	1.はい	2.いいえ	3.準備中
(2) UICCTNM分類(第6版)を使用して登録している。	1.はい	2.いいえ	3.準備中
(3) 院内がん登録の標準項目と定義(拠点の定義)に則って登録をしている。	1.はい	2.いいえ	3.準備中
(4) 貴施設の採用している多重がんの判定ルールをお答え下さい(複数回答可)。 1. SEER 2. IACR 3. 主治医 4. その他() 5. やっていない			
(5) 自施設で初回治療後の再発・転移についても登録を行っている。	1.はい	2.いいえ	3.準備中
(6) 貴施設の登録情報のコード化について問題点、改善点があればお書き下さい。			
5 生存確認調査(予後調査)について			
(1) 生存確認調査を実施している 1.はい 2.いいえ → 次ページ、6 集計・解析、報告書についてへ進む ↓ (2)へ進む			
(2) 生存確認調査実施の対象となる期間についてあてはまる番号に○をつけて下さい(複数回答可)。 1. 診断から、一定期間を決めて毎年、調査している → 診断から__後まで 2. 診断から、3年後に、調査している 3. 診断から、5年後に、調査している 4. 診断から、10年後に、調査している 5. その他()			
(3) 生存確認調査対象者についてご記入下さい。 (例:入院のみ、一部、セカンドオピニオン以外の外来患者を含む) []			
(4) 生存確認調査の方法について、あてはまる番号に○をつけてください(複数回答可)。 1.最終来院情報 2.院内死亡退院情報 3.地域がん登録から 4.住民票照会 5.本籍地照会 6.その他()			
(5) 貴施設の生存確認調査について問題点、改善点があればお書き下さい。			
6 集計・解析、報告書について			
(1) 集計する項目が決まっている。	1.はい	2.いいえ	3.準備中
(2) 定期的に集計をしている。	1.はい	2.いいえ	3.準備中
(3) 集計した内容を病院内で検討し確認している。	1.はい	2.いいえ	3.準備中
(4) 報告書作成についてあてはまる番号に○をつけてください。 1. 毎年報告書を作成している 2. ____年に一度報告書を作成している 3. 報告書は作成していない 4. その他()			
(5) 集計結果を公表している。	1.はい	2.いいえ	3.準備中
(6) 貴施設の集計・解析、報告書作成について問題点、改善点があればお書き下さい。			

7 登録資料の利用について

(1) 地域がん登録へデータを提出している。

- 1.はい 2.いいえ 3.地域がん登録がない
4.その他 ()

(2) 施設の職員の研究活動に利用している。

- 1.はい 2.いいえ 3.準備中

(3) 研究活動に利用する際の手続きが整えられている。

- 1.はい 2.いいえ 3.準備中

(4) 貴施設のデータ提供について問題点、改善点があればお書き下さい。

8 院内がん登録システムのソフト(アプリケーション)、および品質管理についてお答え下さい。

(1) 院内がん登録システムと病院情報システムとの関係について、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1.院内がん登録システムは、病院情報システムの機能として組み込まれている。
- 2.院内がん登録システムは、病院情報システムと独立しているが、データ授受はある。
- 3.院内がん登録システムと病院情報システムとのデータ授受はない。
- 4.その他()

(2) 院内がん登録システムと病院情報システムとのネットワーク共有について、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1.院内がん登録システムは、病院情報システムのネットワークを共有している。
- 2.院内がん登録システムは、病院情報システムのネットワークから独立している
- 3.その他()

(3) 使用している院内がん登録ソフト名および、開発会社名をお書き下さい。

例: Hos-Can-R ver.2.1正式版(クライアントサーバー版)、パスコ社

()

(4) Hos-CanRを使用している施設のみ(4)をお答えください。

i) 旧Hos-CanRから、データ移行を行いましたか？(いいえと回答された方は、iiiへ)

- 1.はい
- 2.いいえ

ii) 実施したデータ移行全てに回答下さい。

- 1.Ver. 2.0 SQL版→Ver. 2.1 ファイル共有版
- 2.Ver. 2.0 SQL版→Ver. 2.1 クライアントサーバー版
- 3.Ver. 2.0 スタンドアロン版→Ver. 2.1 ファイル共有版
- 4.Ver. 2.0 スタンドアロン版→Ver. 2.1 クライアントサーバー版
- 5.Ver. 1.0→Ver. 2.0 スタンドアロン版
- 6.Ver. 1.0→Ver. 2.0 SQL版
- 7.Ver. 1.0→Ver. 2.1 ファイル共有版
- 8.Ver. 1.0→Ver. 2.1 クライアントサーバー版

iii) Hos-CanRをカスタマイズしていますか？

- 1.はい
- 2.いいえ

カスタマイズしている、場合のみ回答してください。

- 1.独自項目のみ
- 2.必須標準項目の中身のコード
- 3.その他()

iv) Casefinderを使用していますか？

- 1.はい
- 2.いいえ

v) CanStageを使用していますか？

- 1.はい
- 2.いいえ

vi) その他

システムにおいて何か特別なことをしていたら、具体的にご記入下さい。

(4) 院内がん登録データの品質管理の方法について具体的にご記入下さい。

例：腫瘍見つけ出しの際のダブルチェック、登録内容のダブルチェックを行い、品質管理プログラム(HosCan-R ver.2.0)を用いている。
また、定期的な集計の際にもデータの不備などをチェックし、再確認を行なっている。

(5) 院内がん登録データの品質管理の方法について具体的にご記入下さい。

例：腫瘍見つけ出しの際のダブルチェック、登録内容のダブルチェックを行い、品質管理プログラム(HosCan-R ver.2.0)を用いている。
また、定期的な集計の際にもデータの不備などをチェックし、再確認を行なっている。

(6) 貴施設の院内がん登録システムのアプリケーションおよび、品質管理について問題点、改善点があればお書き下さい。

9 個人情報保護体制について

(1) 院内がん登録における個人情報保護の規定がある。

- 1.院内がん登録独自のものがある
- 2.病院の規定に準じている
- 3.なし
- 4.準備中
- 5.その他()

(2) 院内がん登録の実施について、施設内の患者さんの目に触れるところに掲示している。

- 1.はい 2.いいえ 3.準備中

(3) 貴施設の個人情報保護体制について問題点、改善点があればお書き下さい。

10 がん登録実務者の教育研修について	
1) 院内で登録実務に関する研修プログラムがある。	1.はい 2.いいえ 3.準備中
2) 院内がん登録に関する外部の研修会に参加している。 1.はい 2.いいえ ↓ はいと答えられた方 受講した研修会名をお書き下さい。 例:平成18年度第1回がん登録実務者研修(国立がんセンター))
3) 貴施設のがん登録実務者研修について問題点、改善点があればお書き下さい。	
V その他、気付いたことをお書き下さい。	

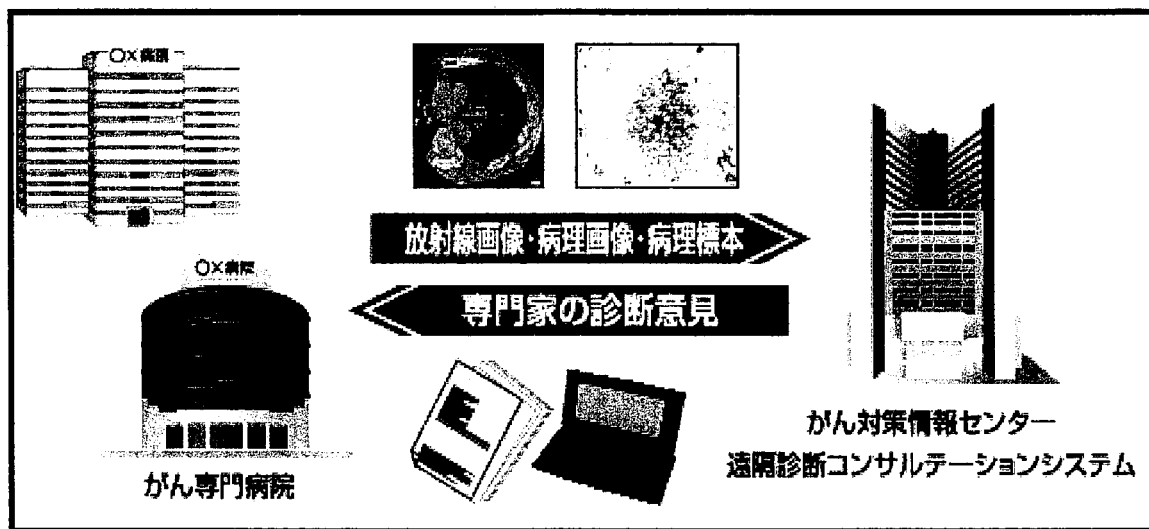
ご協力ありがとうございました。

がん診療支援について

がん診療支援機能

最適な診断や治療が実施されるよう、
がん診療連携拠点病院の医療スタッフを支援する

- 病理診断、画像診断コンサルテーションサービス
- 放射線治療品質管理の支援



がん診療支援: [がん情報サービス がん診療連携拠点病院の方へ] - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

アドレス(A) http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/practice_support/index.html

お問い合わせ

検索

▶ サイトマップ

がん診療連携拠点病院の方へ 一般の方へ 医療関係者の方へ

がん診療支援 研修・セミナー 院内がん登録 相談支援センター

TOP > がん診療支援

がん診療支援

病理診断、画像診断のコンサルテーション、および放射線治療品質管理の支援についてのご案内です。がん診療画像レファレンスデータベースも掲載しています(一関連リンクへ)。

- [病理診断コンサルテーション](#)
- [画像診断コンサルテーション](#)
- [放射線治療品質管理支援](#)

更新情報:
 ・2007年06月05日
[画像診断コンサルテーション・サービス](#)
 ・2007年06月05日
[病理診断コンサルテーション・サービス](#)

関連リンク:
[がん診療画像レファレンスデータベース\(医療者向けページへのリンク\)](#)

このページの先頭へ

サイトマップ | リンク | 著作権 | ニュース | 使用法

© 国立がんセンターがん対策情報センター

http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/practice_support/index.html

画像診断コンサルテーションサービス

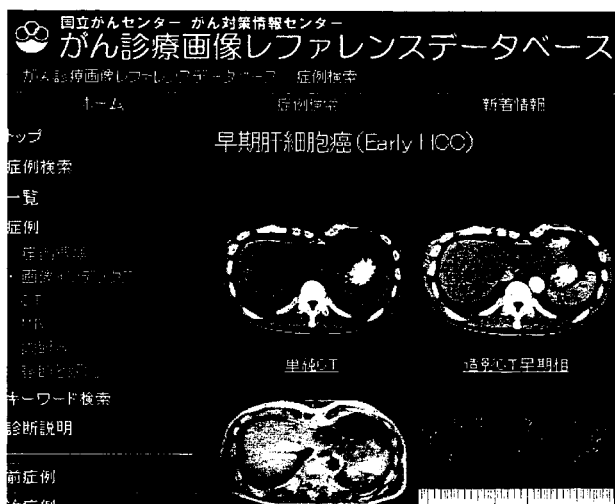
適切ながん診療には適正な画像診断が必須

- 判断が難しく専門家の意見を参考にしたい場合には是非ご利用ください
- 当該領域を専門とするコンサルタントが対応します
- 診断意見報告は、重要ポイントを教育的観点からコメントします； ~~通常の読影レポート~~

画像診断コンサルテーションサービス

- 専門分野別コンサルタント
15分野各5名の構成(現在76名)
高度な知識と豊富な経験を有す専門家

- 教育的な症例画像はWeb公開
 - ・コンサルテーションとの有機的な連携
 - ・貴重な経験を全国の画像診断医と広く共有
- 2007年7月オンラインシステム導入
→ 依頼・報告の効率化



画像診断コンサルテーションサービス

お問い合わせ等、連絡先:

〒104-0045

東京都中央区築地5-1-1

国立がんセンター がん対策情報センター

臨床試験・診療支援部 CIS画像診断コンサルテーション事務局

担当: 女屋博昭(責任者)、大地洋代(事務)

電話: 03-3542-2511(内線: 2446, 2445) ファックス: 03-3547-5013

E-mail: radconsult@ml.res.ncc.go.jp

病理診断コンサルテーションサービス

➤オンライン依頼・報告システムの運用の開始

—平成19年度中

➤バーチャルスライドを活用したサービスの提供

—ガラス標本とバーチャルスライド画像の併用

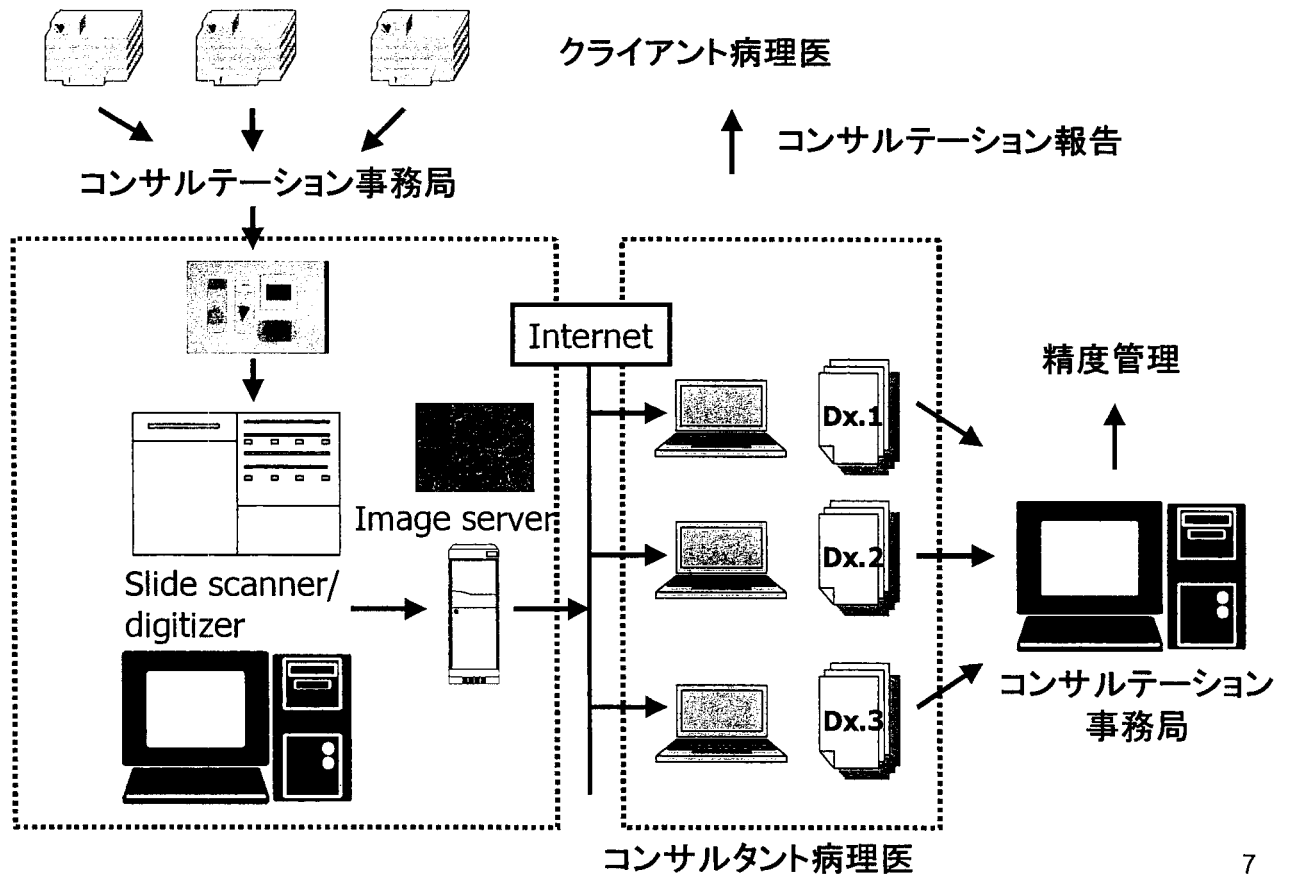
—平成19年度末頃の予定

➤コンサルテーション症例のFollow-up

—最終診断意見がどのように活用されたか

—サービス向上に反映いたします

Virtual slide teleconsultation on the Web



7

病理診断コンサルテーションサービス

お問い合わせ等、連絡先:

〒104-0045

東京都中央区築地5-1-1

国立がんセンター がん対策情報センター

CIS病理診断コンサルテーション事務局 長谷部孝裕

Email: pathconsult@ml.res.ncc.go.jp

電話: 03-3542-2511 内線2437 (またはセンター内PHS 7096 長谷部)

FAX: 03-3547-5012

8

放射線治療品質管理の支援

1) 放射線治療機器の品質管理(物理QC/QA)

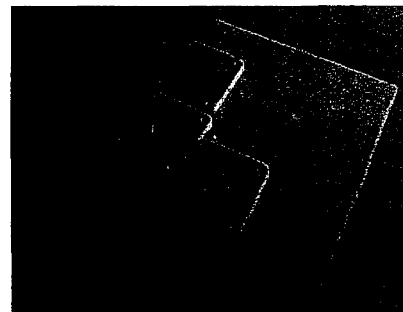
- 正しい線量が投与されているか、第三者評価
- 放射線治療の事故防止にも有効

➤ 郵送調査(有料, 10月開始予定. 予約受付中)

- ・スクリーニング調査
- ・少なくとも3年に1回の調査を推奨

➤ 訪問調査

- ・現地調査による異常の究明および施設へのアドバイス
- ・各施設のQC/QAプログラム改善に有益



放射線治療品質管理の支援

2) 放射線治療内容の品質管理(臨床QC/QA)

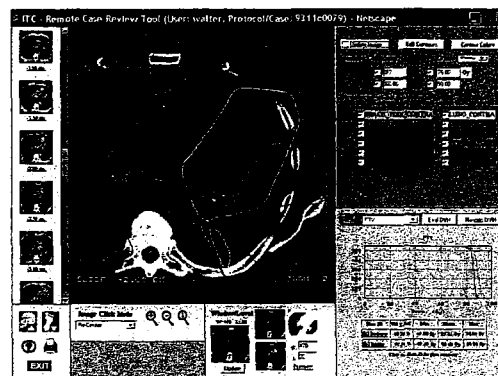
- 標準的な治療計画が行われているか、第三者評価
- 治療の標準化、均てん化、専門医教育にも有効

➤ 訪問調査

- ・線量調査とセットで実施
- ・今後、地域単位の研修会を企画

➤ 遠隔調査

- ・臨床試験との連携
- ・標準的治療計画の普及に有益



放射線治療品質管理の支援

お問い合わせ等、連絡先:

国立がんセンター がん対策情報センター

臨床試験・診療支援部 がん治療品質管理推進室

電話:03-3542-2511 (内線:2457)

FAX番号:03-3547-5013

E-mail: qcsupport@ml.res.ncc.go.jp

担当:石倉 聡、峯村俊行

CIS画像診断コンサルテーションサービス コンサルタント一覧

(平成19年6月5日現在)

荒井保明	国立がんセンター中央病院 放射線診断部
飯沼 元	国立がんセンター がん予防・検診研究センター 検診部
市川太郎	日本医科大学武蔵小杉病院 放射線科
伊藤博敏	京都府立医科大学附属病院 放射線医学教室
伊東克能	山口大学医学部附属病院 放射線部
岩田良子	国立がんセンター東病院 放射線部
江原 茂	岩手医科大学附属病院 放射線科
遠藤登喜子	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 放射線科
扇 和之	日本赤十字社医療センター 放射線科
大松広伸	国立がんセンター東病院 呼吸器内科
尾尻博也	東京慈恵会医科大学附属病院 放射線科
女屋博昭	国立がんセンター がん対策情報センター 臨床試験・診療支援部
織内 昇	群馬大学医学部附属病院 核医学科
柿沼龍太郎	国立がんセンター がん予防・検診研究センター 検診技術開発部
横 靖	獨協医科大学病院 放射線科
金子昌弘	国立がんセンター中央病院 内視鏡部
菅 信一	北里大学病院 放射線科
楠本昌彦	国立がんセンター中央病院 放射線診断部
窪田和雄	国立国際医療センター 放射線科 核医学診断部 第3放射線科
黒崎敦子	虎の門病院 放射線診断科
黒崎喜久	順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線科
奥沼征典	産業医科大学病院 放射線科
後藤裕夫	岐阜大学大学院医学研究科 腫瘍制御学部門 放射線医学分野
小林達伺	国立がんセンター東病院 放射線部
小林 健	石川県立中央病院 放射線科
齋田幸久	聖路加国際病院 放射線科
佐竹光夫	国立がんセンター東病院 放射線部
佐藤広広	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 放射線科
陣崎雅弘	慶應義塾大学病院 放射線診断科
関口隆三	栃木県立がんセンター 画像診断部
高橋正秀	国立がんセンター中央病院 放射線診断部
高安賢一	国立がんセンター中央病院 放射線診断部
竹井俊樹	JA北海道厚生連 旭川厚生病院 放射線科
竹内麻由美	徳島大学病院 放射線科
竹内義人	国立がんセンター中央病院 放射線診断部
立石宇貴秀	国立がんセンター中央病院 放射線診断部
田中優美子	筑波大学大学院 人間総合科学研究科
土屋一洋	杏林大学病院 放射線科
鶴崎正勝	国立がんセンター中央病院 放射線診断部
寺内隆司	国立がんセンター がん予防・検診研究センター 検診部
東野英利子	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 放射線科
野津 聡	埼玉県立がんセンター 放射線科
蓮尾金博	国立国際医療センター 放射線診療部
林 孝行	国立がんセンター東病院 放射線部
藤井博史	国立がんセンター東病院 臨床開発センター 機能診断開発部
藤光律子	福岡大学病院 放射線科
藤本 肇	沼津市立病院 放射線科
松枝 清	財団法人 癌研究会 有明病院 画像診断部
松崎健司	徳島大学病院 放射線科
松本 恒	宮城県立がんセンター 放射線診断科
三森天人	姫路赤十字病院 放射線科
宮川園久	JA長野厚生連 長野PET・画像診断センター
村上康二	獨協医科大学病院 PETセンター
村松幸男	国立がんセンター がん予防・検診研究センター 検診部
百島祐貴	慶應義塾大学病院 放射線診断科
森 清志	栃木県立がんセンター 呼吸器内科
森山紀之	国立がんセンター がん予防・検診研究センター
山田耕三	神奈川県立がんセンター 呼吸器科
吉瀬 毅	島根大学医学部附属病院 放射線科

CIS病理診断コンサルテーションサービス コンサルタント一覧

秋山 太	(財)癌研究会 癌研究所病理部
石井源一郎	国立がんセンター東病院 臨床開発センター
石田 剛	国立精神・神経センター国府台病院臨床検査部
石川 雄一	(財)癌研究会 癌研究所病理部
大島 孝一	久留米大学医学部 病理学教室
尾島 英知	国立がんセンター研究所 病理部
落合 淳志	国立がんセンター東病院 臨床開発センター
金井 弥栄	国立がんセンター研究所 病理部
亀谷 徹	静岡県立静岡がんセンター 病理診断科
黒住 昌史	埼玉県立がんセンター 病理科
坂元 亨宇	慶應義塾大学医学部病理学教室
笹島ゆう子	国立がんセンター中央病院 臨床検査部
柴田 龍弘	国立がんセンター研究所 病理部
下田 忠和	国立がんセンター中央病院 臨床検査部
竹内 賢吾	(財)癌研究会 癌研究所病理部
谷口 浩和	国立がんセンター中央病院 臨床検査部
津田 均	防衛医科大学校 病態病理学講座
蔦 幸治	国立がんセンター中央病院 臨床検査部
中川 温子	国立成育医療センター臨床検査部
中里 洋一	群馬大学大学院医学系研究科 病態病理学分野
中西 幸浩	国立がんセンター研究所 病理部
長嶋 洋治	横浜市立大学大学院医学研究科 分子病態腫瘍病理学
野口 雅之	筑波大学基礎医学系病理学
長谷川 匡	札幌医科大学医学部 病理診断学
長谷部孝裕	国立がんセンター がん対策情報センター 臨床試験・診療支援部
平岡 伸介	国立がんセンター研究所 病理部
藤井 誠志	国立がんセンター東病院 臨床開発センター
前島亜希子	国立がんセンター研究所 病理部
松寄 理	君津中央病院 病理検査科
松野 吉宏	北海道大学病院 病理部
真鍋 俊明	京都大学医学部付属病院 病理診断部
森永 正二郎	北里研究所病院 病理科